

## 建築作品部門

### 低炭素型社会の促進

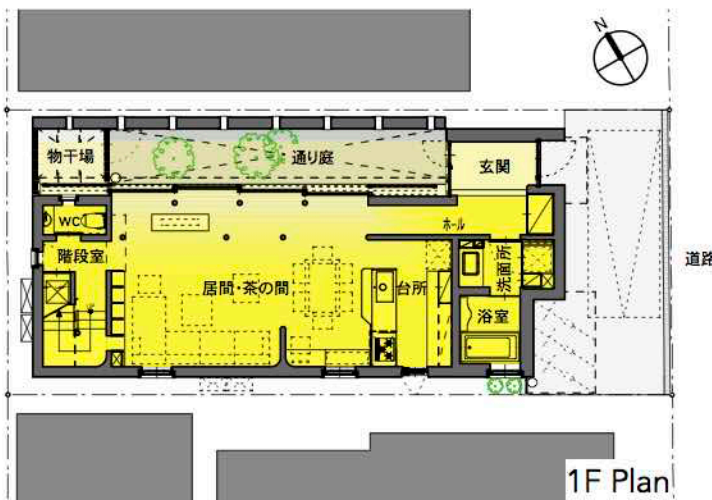
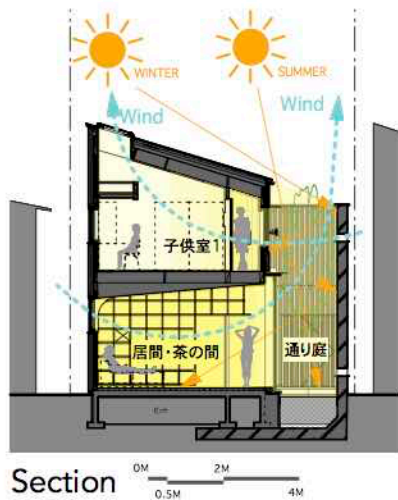
建築物の低炭素化の促進 低炭素型のライフスタイルの促進

# 土塗の家

計画地は、閑静な住宅街として人気があり、住宅が密集している。敷地は東を道路に接し、東西に細長い土地で、隣家は近接している。そのため特に冬は南からの太陽光を期待できない場所である。

この住宅では夏に涼しく、室内と屋外がつながりのある生活空間を目指した。そこで断熱と遮熱をしっかりと行い、直射光を入れないよう、北側にリフレクターとしての塀を持つ通り庭を設け、南側を住居空間とした。北側の通り庭に光が差し込むことで、明るい庭を視覚的に楽しむことができるだけでなく、庭からの反射光により、安定した柔らかい光環境を実現している。夏季は直接光を防ぐことで周壁温度を低く保ち、放射環境を整えている。これによって酷暑期においても室温を26~28℃に保っている。室温を低くすることで、通常は相対湿度が上昇するが、土壁の調湿効果によって快適な湿度を保っている。

住宅性能の向上が求められる中、通常住宅が密集する地域では、室内環境のみをアクティブ技術によって整える手法が取られやすい。しかし、計画敷地を読み込むことで、個々の条件に適した、屋外環境と一体となった室内環境をパッシブな手法により実現できることをこの住宅は示している。



所在地：東京都武蔵野市  
構造・規模：木造2階建  
延床面積：129.41㎡ (39.15坪)  
建築面積：66.09㎡ (19.99坪)  
敷地面積：132.24㎡ (40.00坪)  
暖房方式：低温温水式床放射暖房  
暖房熱源：ハイブリッド (ガスボイラー+空気熱源HP)

冷房方式：自然蓄冷床放射涼房+汎用エアコン (除湿利用)  
1F床の仕様：コンクリートスラブ t=150の上シタ+コンクリート t=60下地の上フローリング  
窓の仕様：Low-Eペアガラス  
断熱仕様：壁：軸間 高性能グラスウール24Kt=100, 付加 ポリスチレンフォームM3種 t=30  
屋根：ポリスチレンフォームM3種 t=100+60



応募代表者：照井 康穂

北海道札幌市南区北ノ沢3丁目12-34  
株式会社照井康穂建築設計事務所

1992 (株)竹中工務店東京本店  
1996 (株)アープ建築研究所  
2007 照井康穂建築設計事務所 設立  
2014 (株)照井康穂建築設計事務所として改組

住宅や建築を手がけるにあたって、私たちはそこで感じることを、そこで行われるであろうことをとても大切に考えています。それが結果として、人の行動や気持ちをつくることにつながるからです。

例えば住まいの間取りやかたち、環境はそのためにつくられます。暮らしの器を、いとおいしい瞬間のために丹念にしつらえることが重要だと考えています。